

最新の冷媒問題への対応と展望 2023

※2023年度の最新情報です！【集合式】&【オンデマンドWEB配信】

主催：(公社)日本冷凍空調学会 関東地区事業推進委員会

協賛：(公社)空気調和・衛生工学会、(一社)日本冷凍空調工業会、(一社)日本冷凍空調設備工業連合会、(一財)日本冷媒・環境保全機構

開催日：集合型 2024年2月27日(火) 10:00-16:40 (受付9:15-)

場所：早稲田大学(西早稲田キャンパス 57号館 201室)

定員：200名 ※集合型への参加登録者は後日オンデマンド配信もご視聴いただけます。

オンデマンド配信予定：2024年3月6日(水)～3月20日(水) 定員なし

パリ協定、モントリオール議定書キガリ改正のHFC削減スケジュールを実現するためには、微燃性冷媒や自然冷媒を積極的に活用していく必要があります。

2020年10月には、「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言され、さらに2021年4月に開催された気候変動に関する首脳会議(サミット)において、温暖化ガスの排出削減目標を13年度比で46%減を目指すとの表明がありました。それまでの目標が13年度比26%減であったことを考えると7割以上の引き下げであり、関係者から見ても挑戦的な目標であることは容易に理解できます。また2023年に指定製品として、更新用以外のビル用マルチエアコン、コンデンシングユニットの追加が承認されました。さらに2030年までに加重平均でGWP450程度を目指すとされています。

今後、更なる新冷媒の検討が必要となる状況であり、今回はこれらの取組み状況と将来展望について紹介します。

皆様ふるって参加されますようご案内申し上げます。

1 基調講演

1.1	冷凍空調用冷媒をめぐる最近の状況と展望	香川 澄 早稲田大学 (公社)日本冷凍空調学会 元会長	10:00- 11:00
1.2	フロン排出抑制法の今後の展開	宇垣 祐貴子 経済産業省オゾン層保護等推進室	11:00- 12:00

2 冷媒問題への対応

2.1	カーボンニュートラル2050を目指す冷凍空調業界の課題と対応について	安田 透 (一社)日本冷凍空調工業会	13:00- 13:35
2.2	空調機国際安全規格の改定状況	橋本 均 (一社)日本冷凍空調工業会	13:35- 14:10
2.3	常時監視によるフロン類の漏えい検知システムについて ～JRA GL-17：業務用冷凍空調機器ガイドライン～	北出 幸生 (一社)日本冷凍空調工業会	14:10- 14:45

3 次世代冷媒・機器開発の状況

3.1	A3冷媒 R290 を使用した温水暖房機の開発	高山 啓輔 三菱電機株式会社	14:55- 15:30
3.2	低GWP冷媒“AMOLEA”の開発	福島 正人 AGC株式会社	15:30- 16:05
3.3	ディープレーニングによる空調機器の 冷媒漏えい検知技術	小牟禮 信哉 東芝キャリア株式会社	16:05- 16:40

※講演者、プログラム等は予告なく変更する場合があります。予めご了承下さい。

参加費(税込)：本学会と協賛団体の会員 18,000円 冷凍技士 10,000円 非会員 25,000円

会員学生 2,000円 非会員学生 4,000円

※ 集合型も、オンデマンド配信型(講演ビデオ視聴型)も参加費は同額です。

※※集合型に参加登録を頂いた方は、オンデマンド配信の動画視聴も可能です。

申込方法：本Webセミナーは冷凍CPD会員登録者のみ受講できます。

未登録者はホームページより「冷凍CPD会員」登録後にセミナーにお申し込みください。

申込URL → <https://jsrae-edu.org/>

※ オンデマンド希望の場合は予め【[視聴環境確認ページ](#)】より、テスト動画が再生できることを必ずご確認ください。

※※ 集合型の全参加者は、常にマスク着用をお願いします。

当日の検温で37.5℃以上、あるいは、平熱より1℃以上高い場合は受講不可となります。

その他、咳、味覚・嗅覚異常などの症状がある場合も受講頂けません。

以上、ご了解の上お申し込みください。

備考1：受講する為には、冷凍CPD会員の登録が必要となりますが、登録は無料です。

備考2：申込完了後に届く自動メールから「請求書」がダウンロードできます。

セミナー参加費の振込先銀行口座は請求書に記載されています。

備考3：お振込み確認後、或いはクレジット決済で申し込まれた方には「領収書」を自動メールでお送りします。領収書も請求書と同様にWEBにてダウンロード、印刷できます。

この領収書は従来のセミナー・見学会参加券同様、5枚集めることで年次大会へ1名無料で参加することが出来ます。(有効期限：セミナー開催日から3年間)